

シンポジウム

# 人生100年時代 における幸福感を考える

人生100年時代と言われる長寿化に私たちはどう対応するのか、またどのようにしたら自分の人生を最後まで豊かに生きられるのか、そして、人生の終焉を豊かに迎えるためにどのような準備をしておくのがよいのか。人生100年時代研究の第一人者であるリンダ・グラットン氏(ロンドンビジネススクール教授)をイギリスからお迎えし、前野 隆司氏(慶応大学教授)と茂木 健一郎氏(脳科学者)とともにパネルディスカッションを行います。

2023年12月1日(金) 13:00~15:00

場所 笹川平和財団国際会議場 東京都港区虎ノ門1-15-16笹川平和財団ビル11F

参加無料(事前申込制)

定員:170名

申込みはこちら

※受付先着順、定員到達後はキャンセル待ちとなります。



ロンドンビジネススクール教授  
リンダ・グラットン氏



慶応大学教授  
前野 隆司氏



脳科学者  
茂木 健一郎氏



モデレーター  
国谷 裕子氏

詳しくは裏面をご確認ください →

シンポジウム

# 人生100年時代 における幸福感を考える

2023年12月1日(金)

時間 13:00~15:00(開場12:30)

会場 笹川平和財団国際会議場

## プログラム

12:30 開場

13:00 開演

13:05 ご挨拶

13:15 基調講演

リンダ・グラットン

休憩

13:45 パネルディスカッション

リンダ・グラットン / 前野 隆司 / 茂木 健一郎  
モデレーター: 国谷 裕子

14:55 クロージング

15:00 閉幕

※スケジュールは変更になる可能性があります。



【東京メトロ銀座線】

虎ノ門駅下車「2b・4・12出入口」より徒歩1分

【東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線】

霞ヶ関駅下車「A12出入口」より徒歩5分

参加無料  
(事前申込制)

お申込み・お問い合わせ

右記QRコードより  
お申し込みください

※受付先着順、定員到達後は  
キャンセル待ちとなります。



『人生100年時代における幸福感を考える』参加登録事務局

tel.03-3456-2333 (平日 10:00~17:00)

超高齢化社会を迎えた日本では、長い人生を最後まで幸せに生きるためにどのような準備が必要なのかに関心が高まっています。私たち日本財団は、自分の死と向き合うことができれば、与えられた生をよりよく生きることのできるのではないかと考えます。

日本財団は、ホスピスの普及をはじめ、これまでも死について考える取り組みを行ってきました。遺贈寄付の普及促進もその一つです。遺贈は遺言書で相続人以外の人や団体に財産を遺すことですが、自分が人生の後期にどのような財産を誰に遺すのかを考えることはその人それぞれの人生をいかに生きるかを考えることになり、延いては人生を豊かにするものではないかと考えます。

人生100年時代にあって、いかに長寿を前向きに捉えるか、人生の後期にどのような選択をするのか、豊かな人生を送るということ、豊かな社会を作ることとはどういうことなのか、人生100年時代研究の第一人者であるリンダ・グラットンさんをお招きし、皆様と一緒に考える機会としたいと思えます。

## 出演者

### リンダ・グラットン

ロンドン・ビジネス・スクールの管理経営学教授、組織論学者。  
全世界でもっとも権威ある経営思想家ランキングの「Thinker50」では、トップ15にランクインしており、2018年には安倍晋三元首相から「人生100年時代構想会議」のメンバーに任命された。著作の『ワーク・シフト』『LIFE SHIFT』シリーズ(アンドリュー・スコットとの共著)は日本で大ベストセラーになった。長寿社会におけるキャリア構築の考え方「人生100年時代」というキーワードを作り出した中心人物。

### 前野 隆司

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長。  
幸福学、幸福経営学、イノベーションの研究・教育を行なっている。著書に、『ディストピア禍の新・幸福論』(プレジデント社)、『ウェルビーイング』(日経文庫)、『幸せな職場の経営学』(小学館)、『幸せの日本論』(角川)、『幸せのメカニズム 実践・幸福学入門』(講談社現代新書)、『脳はなぜ「心」を作ったのか』(筑摩書房)など多数。

### 茂木 健一郎

脳科学者。1962年東京生まれ。東京大学大学院客員教授、企業内研究所の上級研究員、各種業界団体の理事や顧問などを務める。東京大学理学部、法学部卒業後、同大学院理学専攻課程修了。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。  
「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究。併せて近年は「人とAIのアラインメント」の研究に注力中。主な著書に『脳と仮想』(小林秀雄賞受賞)、『今、ここからすべての場所へ』(桑原武夫賞受賞)、『IKIGAI』(英語で執筆、世界で出版)など。

### 国谷 裕子

ジャーナリスト。東京藝術大学理事。  
NHK衛星放送「ワールドニュース」キャスターやNHK総合テレビで1993年から2016年3月まで23年間「クローズアップ現代」を担当。現在、東京藝術大学理事、慶應義塾大学大学院特別招聘教授、自然エネルギー財団理事、国連食糧農業機関(FAO)親善大使。SDGsの取材、啓発を中心に活動している。  
著作「キャスターという仕事」(岩波新書)

